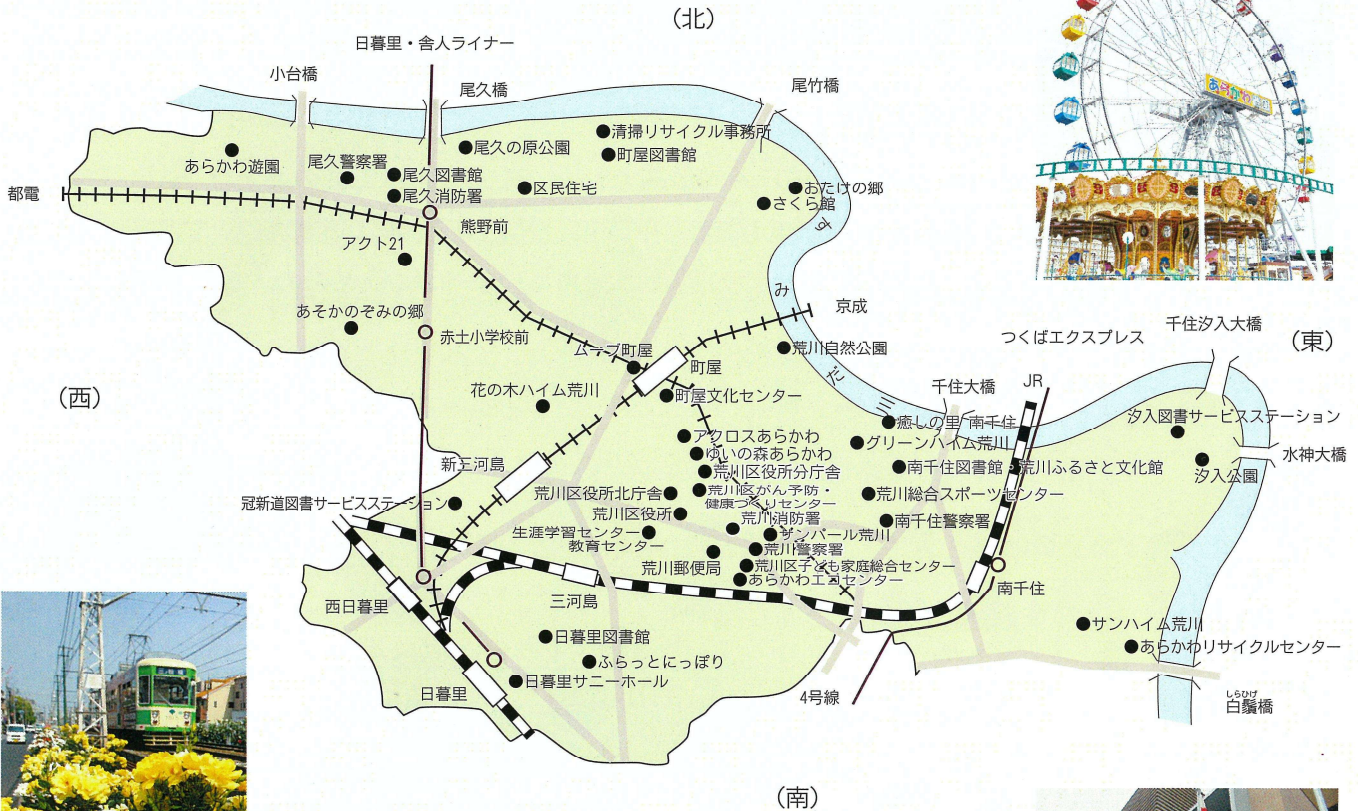


荒川区ミニガイド

荒川区は、東西に長く、北から東にかけて隅田川が流れています。

川にそった荒川区は、ほとんどの土地が低く平らですが、いちばん高い所は西日暮里の諏訪台とよばれる台地、いちばん低い所は南千住の8丁目付近（汐入）です。

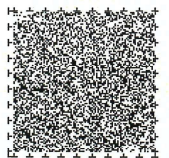


荒川区には、都電荒川線が約4キロにわたって走っています。線路のわきには、たくさんのバラが咲き、区民に親しまれています。



荒川区の位置と広さ

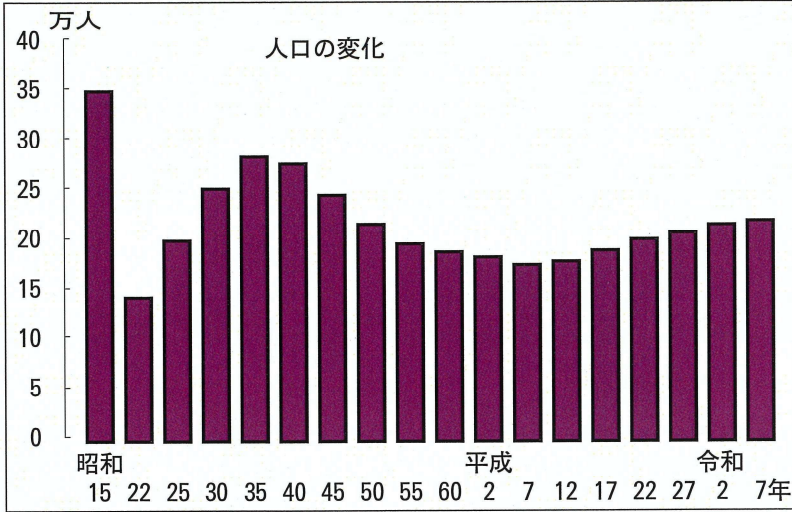
荒川区は東京23区の東北部にあり、すぐとなりには、台東・文京・北・足立・墨田区があります。荒川区の広さは10.16km²で、東京23区の中で22番目です。いちばん広い大田区は61.86km²で、荒川区の約6倍の広さです。



Uni-Voice

人 □

住民基本台帳による



人	日本人	男 99,036人 女 100,172人 計 199,208人
	外国人	男 12,590人 女 12,986人 計 25,576人
	総人口	224,784人
世帯数	128,146	世帯

(令和8(2026)年1月1日)

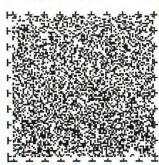
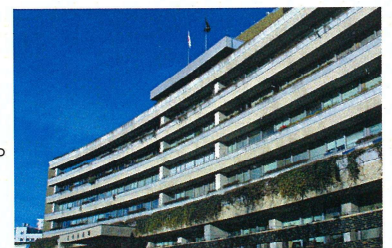
荒川区の人口は、昭和18(1943)年の約35万人が最高でした。第二次世界大戦のあとは、昭和35(1960)年の約28万5千人を最高に毎年へってきましたが、平成10(1998)年以降は再開発などにより、増加に転じています。年齢で見ると、お年よりの人口の割合は増えていますが、子どもの人口の割合はあまりかわっていません。

絵で見る区民生活

<p>家族数 1世帯1.75人 R8年1月1日現在</p>	<p>お年よりのわりあい 約4.6人に1人 R8年1月1日現在</p>	<p>こどものわりあい 約9.7人に1人 R8年1月1日現在</p>	<p>出産 1日あたり4.1人 R7年1月～12月</p>	<p>死 1日あたり6.4人 R7年1月～12月</p>
<p>転入 1日あたり48.1人 R7年1月～12月</p>	<p>転出 1日あたり46.2人 R7年1月～12月</p>	<p>交通事故 1日に0.9件 R7年1月～12月</p>	<p>火災 4.5日に1件 R7年1月～12月</p>	<p>ごみ ひとり1日あたり606g R6年度</p>
<p>小学校 24校 R8年4月1日現在</p>	<p>中学校 10校 R8年4月1日現在</p>	<p>公園 36カ所 児童遊園 70カ所 R8年4月1日現在</p>	<p>図書館 5館 分室2館 R8年4月1日現在</p>	<p>ふれあい館 15館 ひろば館 12館 27館 R8年4月1日現在</p>

区役所の建物

区役所の建物は昭和43(1968)年6月27日に完成しました。たてるのに当時のお金で、10億6,800万円かかりました。建物の高さは一番高いところで35.6mあります。また、大地震が起きても建物が倒れないように、平成23(2011)年には、免震装置による耐震工事を行いました。



Uni-Voice

区役所の仕事

(令和8(2026)年度)



区役所では、いろいろな仕事をしています。仕事をするために、区役所に入るお金は、税金や国・都から入るお金、区民が施設を利用したときにはらうお金などです。令和8(2026)年度は、約1,367億円のお金が入り、次のような仕事に使われる予定です。







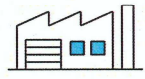
区役所ではたらく人

区長

区役所の仕事をまとめる役目をしているのが区長です。区長は、区の仕事をどのようにするのかを区議会と相談して決め、決まった仕事をしていく責任者です。

職員

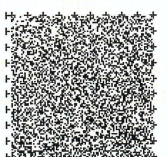
区役所では、いろいろな仕事をするために、約2,600人の職員がはたらいています。

<p>福祉や子育て支援などに 672億円</p> <ul style="list-style-type: none"> お年よりや体の不自由な人、生活にこまっている人の手助けをする。 保育園や学童クラブで子どものお世話をします。 	<p>防犯・防災や文化などに 234億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震や火災にそなえて、準備をする。 図書館、スポーツセンター、ふれあい館などの施設を運営する。 
<p>教育などに 151億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園や小中学校などで、勉強する環境づくりをする。 	<p>まちづくりなどに 115億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路を広くし、人や車が通りやすい道をつくる。 緑をふやしたり、公園をつくったりする。 
<p>清掃や環境などに 53億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球にやさしい、住みやすいまちづくりをする。 ごみを集めて処理する。 リサイクル活動の手助けをする。 	<p>健康などに 50億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康しんだんや、病気の予防をする。 食べ物をあつかうお店の検査をする。 
<p>産業や観光などに 44億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店や小さい工場のおうえんをする。 商店街づくりを助ける。 荒川区の良いところをたくさんの人に紹介する。 	<p>その他 48億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会の運営をする。 借りているお金を返す。

区議会

区議会は、18歳以上の区民がえらんだ、区民の代表である区議会議員32人からなります。

区議会では、荒川区をよりよいまちにするために、お金の使い方を話しあったり、区民に守ってもらうきまりを決めたりします。会議は、議員全員が集まって開く「本会議」と、「委員会」とがあります。委員会では、議員がなんんかに分かれて話し合いなどをします。



区役所屋上から見えるおもなたてもの



マークタワー センター町屋

きた
(北)



がん予防・健康づくりセンター
ゆいの森あらかわ 荒川自然公園

ほくとう
(北東)



南千住4丁目・8丁目の高層住宅 荒川総合スポーツセンター

ひがし
(東)



荒川消防署 東京スカイツリー®
サンパール荒川 荒川郵便局
荒川警察署

なんとう
(南東)



三河島駅前南地区の高層住宅 日暮里駅前地区の高層住宅

なんせい
(南西)



にし
(西)



荒川区の紋章

しょうわ 昭和25(1950)年
ねん
がつふつかせいでい
5月2日制定

うえ はんえん ちゅうしん かわ じ
上の半円が、中心の川の字につづ
き、アと読み、中心の水平線と下の
はんえん ちゅうしん さんぼん かわ
半円でラ、中心のたて三本が川で、
ぜんたい えん わ
全体の円のかたちは、和をあらわし
ています。



荒川区のシルボルマーク

へいせい 平成20(2008)年
ねん
がつふつかせいでい
1月4日制定

「ARAKAWA」の「A」という
もじ ひと ちから げんき ずあんか
文字と「人の力」や「元気」を図案化
し、組み合わせたものです。また、「人
の和(WA)」という意味も表してい
ます。朱色は昇る朝日や人情の温
かさを表し、緑色は常緑樹の葉
いろ とくわいろ えいえん ふへん
の色(常磐色)で、「永遠」や「不変」を
あらわ 表しています。

荒川区の木と花

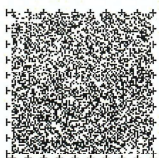
しょうわ 昭和54(1979)年
ねん
がつふつかせいでい
11月制定



く 区の木 サクラ



く 区の花 ツツジ



Uni-Voice



古紙配合率70%再生紙を使用しています

登録 (08) 0011 号
令和8(2026)年6月発行
政策企画部
広報・シティプロモーション課